

日刊スポーツ
NIKKAN SPORTS

1月12日 月曜日
2004年(平成16年)
PM8:00

国見FW平山相太(3年)の話「1年間、去年の決勝で(市船橋に)負けた悔しさを胸に練習してきたので、優勝できてうれしい。(2大会連続の得点王となつたが、満足せずステップアップしていきたい」

国見2冠 平山 得点王

5戦連発9ゴール!2大会連続!

写真II【筑陽学園対国見】

後半40分、この試合2点

目を挙げスタンドの声援

に応える国見FW平山

(写真左上) 後半40分、国

見平山がこの試合2点目

のシューートを決める

(写真左下) 筑陽学園を破

り優勝を決め喜ぶ国見イ

レブン(共同)

全国高校サッカー
◇決勝 ◇12日 ◇国立競技場
国見(長崎)が初めて90分間で行われた決勝で、初出場の筑陽学園(福岡)にエース平山の2得点などで6対0で圧勝し、2大会ぶりに戦後最多タイとなる6度目の栄冠を手にした。戦前と合わせても、優勝回数は御影師範(兵庫)の11度に次ぐ2位。決勝での6得点差は大会最多に並び、6得点も3位タイとなつた。国見は昨夏の高校総体に続く2冠を達成した。

成した。
国見は前半12分、左サイドを突破した兵藤からのクロスを、右から上がった川口がボレーで決め先制。後半16分、平山が兵藤との連係でDFの裏へ飛び出し、出てきたGKもかわして2点目を決めた。その後は国見が体力を生かした猛攻で立て続けに4点を決め、一方的な展開にした。平山は5試合連続得点で1大会最多タイの通算9得点をマーク、首都圏開催となつた第55回大会後初の2大会連続得点王となつた。

